

科目名	サブタイトル	担当教員	配置学年
体育実技B	スポーツの楽しみ方を発見し実践、そしてそれを実力に	早川 幸治	1 年次後期
目的	スポーツは楽しみながら行うことであり、「真の楽しさ」を体験するにはどうしたらよいかを考え、工夫し自ら進んで実践する意欲を身につける。様々な競技種目を通して運動を楽しむ。		
到達目標	1、健康や体力の維持増進、技術上達等を各人が体験し健やかな心と体を育てることができる。 2、様々な種目を通して仲間との円滑なコミュニケーション能力を養い、仲間とともに時間と空間を共有する喜びを感じることができる。 3、体育実技を通して、前に踏み出す力・考える力・チームで動く力を同時に体得することができる。		
内容	下記の種目を実施する。受講者の習熟度や天候などによる教場の変更によって、各種目の回数は増減する。		
講義スケジュール	第1講	ガイダンス シラバス内容の確認	
	第2講	グラウンド競技『ゴール型ゲーム①』（バスケットボール等） 競技の特性、ルールなどの確認	
	第3講	グラウンド競技『ゴール型ゲーム②』（バスケットボール等）基礎的技能などの実践	
	第4講	グラウンド競技『ゴール型ゲーム③』（バスケットボール等）個人戦術などの実践	
	第5講	グラウンド競技『ゴール型ゲーム④』（バスケットボール等）グループ戦術などの実践	
	第6講	グラウンド競技『ゴール型ゲーム⑤』（バスケットボール等） ミニゲーム（3 on 3）などの実践	
	第7講	グラウンド競技『ゴール型ゲーム⑥』（バスケットボール等） ゲーム構成方法・試合などの実践	
	第8講	グラウンド競技『ゴール型ゲーム⑦』（バスケットボール等） ゲーム構成方法・試合などの実践	
	第9講	講堂競技『ネット型ゲーム①』（インテイク・卓球・バトミントン等） 競技の特性、ルールなどの確認	
	第10講	講堂競技『ネット型ゲーム②』（インテイク・卓球・バトミントン等）基礎的技能などの実践	
	第11講	講堂競技『ネット型ゲーム③』（インテイク・卓球・バトミントン等） 個人・シングルス戦術などの実践	
	第12講	講堂競技『ネット型ゲーム④』（インテイク・卓球・バトミントン等） ペア・ダブルス戦術などの実践	
	第13講	講堂競技『ネット型ゲーム⑤』（インテイク・卓球・バトミントン等） 個人・シングルス戦などの実践	
	第14講	講堂競技『ネット型ゲーム⑥』（インテイク・卓球・バトミントン等）ペア・ダブルス戦などの実践	
	第15講	講堂競技『ネット型ゲーム⑦』（インテイク・卓球・バトミントン等）団体戦などの実践	
方法指導	学生の考えを中心に、場所・時間・人数・性別を考慮し、安全性を意識して実技を実践していく。		
授業外学習	授業前の事前学習として、各競技の映像など観て、競技イメージを作っておくことが必要である。また、事後学習として、授業時に習得した技能などを生かし、課外活動などで実践し、さらに競技の楽しさを追求することができる。		
成績評価方法	各運動の基本的技能（20%）＋実技参加の積極性および協調性（40%）＋授業に対する関心・意欲・態度（40%）＝合計（100%）		
テキスト	テキストはありません。しかし、指定のグラウンドシューズ・体育館シューズを購入して頂きます。1足で3000円前後かかります。 （高等学校体育施設にて実技が行われるため、指定のシューズ以外の立ち入りが出来ないため）		
書籍参考	特になし。		
事項	ピアス、ネックレス、ブレスレット、指輪などアクセサリーは外すこと。		